

「俳句の魅力ー作句と添削そして鑑賞ー」

俳句はペン一本と紙さえあれば誰もが楽しめる遊びの文芸です。
この講義では京都の俳人・大森健司が丁寧にわかりやすく俳句の作り方を指導いたします。

1. 俳句作句の基本について
2. 俳句鑑賞の手引き
3. 実作 季語:行く年もしくは大年、咳（しはぶき）、時雨
※冬の季語であれば他の季語でも可
4. 添削
5. 講評 大森健司選の評価と鑑賞

是非お気軽にご参加ください。

大森健司プロフィール

1976年3月18日生まれ。京都市出身。

同志社大学文学部卒業。

1999年、角川春樹事務所に入社。月刊『俳句現代』編集長代理（編集長は角川春樹）幻戯書房編集長、中村獅童事務所代表を歴任。

1985年から2009年まで角川書店創業者である角川源義主催の俳句結社「河」に6歳より所属。

角川源義主宰代行の吉田鴻司に師事後、長男の角川春樹に師事し、結社賞「河新人賞」「河賞」「角川春樹賞」受賞。

1999年、第1回俳句現代賞を受賞。選考委員は飯島耕一、辻井喬、角川春樹。2007年に第一句集『あるべきものが…』（日本一行詩協会刊）を刊行。翌2008年、同句集にて第1回日本一行詩大賞新人賞を受賞（日本一行詩協会主催、読売新聞社後援、選考委員は辻井喬、加藤郁乎、福島泰樹。）

2012年、俳句結社「森」（顧問に森村誠一、鎌田敏夫）を設立。季語の重要性と日本語の美しさをうたう。

各種企業、団体のコンサルティングの他、京都芸術文化協会 会員、京都国際文化協会 理事

講師：大森 健司 俳句結社「森」主宰

日時：2020年12月11日（金曜日）14：00時～16：00（受付 13:30～）

場所：京都市国際交流会館 1階 第1会議室
市営地下鉄東西線 蹴上駅より北へ徒歩5分

費用：一般 1000円（会員 無料）

定員：15名

主催：一般財団法人 京都国際文化協会

606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2-1 京都市国際交流会館3F

お申込み) 一般財団法人 京都国際文化協会

Mail: kica@kicainc.jp Tel: 075-751-8958 Fax: 5-751-9006